

# 一 般 質 問 要 綱

令和元年第6回9月定例会

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
1	19	後藤 誠 司	<p>1 小中学校適正規模適正配置について 平成 29 年度から市立小中学校適正規模適正配置の地域説明会、アンケート調査が始まり、現在は基本方針（案）に対するパブリックコメントが7月12日から8月13日にかけて実施をされたところです。そこで以下の点について伺います。</p> <p>(1) 基本方針（案）に対するパブリックコメントについて伺います。 ア 件数と内容について伺います。 イ 対応と今後の予定について伺います。</p> <p>(2) 小規模特認校について伺います。 ア 全国での設置校数について伺います。 イ 要件と認可について伺います。</p> <p>(3) 小中一貫校について伺います。 「施設一体型」、「併設型」、「連携型」とありますが、その特性について伺います。</p> <p>2 有害獣の被害状況について (1) 今年度のツキノワグマ、ニホンザル、イノシシの旧市町村毎の出没数と捕獲数を伺います。 (2) 今年度のツキノワグマ、ニホンザル、イノシシの旧市町村毎の農作物の被害面積と被害金額を伺います。 (3) 今年度の電気柵貸し出し状況について伺います。 (4) 県は、イノシシの被害について昨年度各集落にアンケートを実施し、本年度そのマップを作成したようですが、本市の状況について伺います。</p>
2	14	齋藤 仁 一	<p>1 気候変動について (1) 環境基本計画、第4節地球環境の保全に関して具体的な取組みと指標の進捗について伺いたい。 (2) 環境基本計画、第5節環境教育・学習の推進に関して具体的な取組みについて伺いたい。 (3) 環境基本条例制定及び環境基本計画策定後の環境審議会での議論の内容について伺いたい。 (4) 2019年8月7日現在、世界18カ国935の地方政府及び自治体で取り組まれている「気候非常事態宣言」について、市の考えと対応について伺いたい。</p> <p>2 農業政策について (1) 農林業ビジョンに示されている各種指標の進捗状況はどのようになっているのか、特に、農業における担い手の育成確保、集落営農及び法人化への取組み、環境にやさしい農業の推進、農業・農村環境保全活動の推進、野生獣被害防止電気柵設置導入地区及び本市への移住・定住について伺いたい。 (2) 農業における担い手確保の財源確保と電気柵設置補助の見直しを含めた財源確保の考えについて伺いたい。 (3) 中山間地及び山間地での農業の継続が極めて困難な状況であるが、市としての認識と課題解決に向けた具体的な取組みについて伺</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			<p>いたい。</p> <p>3 複合施設整備について</p> <p>(1) 旧県立喜多方病院跡地の活用について、先の6月議会で1期工事分の基本設計委託料が予算化されたが、その後の進捗状況はどのようになっているのか伺いたい。</p> <p>(2) この建設については、議会からも様々な意見が出ているが、6月議会後、執行部はどのように検討したのか、そしてどのように計画に反映するのか伺いたい。</p> <p>(3) この複合施設には図書館及び郷土民俗資料の展示室も計画されている。当然、図書館協議会や郷土民俗館等運営委員会の意見も聞いたと思われるが、どのような意見があったのか伺いたい。</p> <p>(4) 子どもの遊び場としては緑地がないなどの課題がある。施設整備の再検討すべきでないか伺いたい。</p>
3	20	佐原正秀	<p>1 農政の動きとその対応について</p> <p>政府は6月21日規制改革実施計画を閣議決定され、第5次答申を踏まえ、期限を定めて着実な実現を図る方針が示されました。成長産業化を目指す農業分野では、生産性向上のための先進技術導入や生産資材・設備のコストダウンを図る観点など、また、ドローン活用の取り組み規制見直しの重点事項を掲げました。それによりますと、スマート農業の実現により、競争力強化をさらに加速させるとのことです。</p> <p>そこで本市の対応についてお尋ね致します。</p> <p>(1) スマート農業での競争力強化対策について</p> <p>(2) 人・農地プランの取り組みについて</p> <p>(3) 新規農業者の環境づくりについて</p> <p>(4) ドローンの活用について</p> <p>(5) 輸出力強化に向けた対応について</p> <p>(6) 人口減少社会に対応した土地政策について</p> <p>2 規格外を活用した商品化づくりについて</p> <p>規格外の野菜などに付加価値を付けることは、生産者にとって大きな大きな課題となっております。地元農産物を使った野菜チップス、カット野菜、発酵食品、冷凍野菜を開発し、農産物直売所などを初めとし、一般での販売を始めることが大事であります。規格外で市場に出荷できない場合、農家の段階で廃棄される野菜等を買取り、付加価値を付けることにより、太陽と大地の恵みとして特産化することで、有効活用と農家所得の向上を図ることが大事と思うがどうか。また、これらの加工場をつくり運営すべきと考えますがお尋ね致します。</p> <p>(1) 農協と行政がタイアップした加工場づくりについて</p> <p>(2) 規格外を活用した特産品づくりについて</p> <p>(3) 消費者への地産地消のPRについて</p> <p>(4) 有効活用による所得向上について</p> <p>(5) 高齢者の野菜づくりについて</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			<p>3 今からでもできる学校の熱中症対策について</p> <p>喉元過ぎれば熱さを忘れるとのことわざがありますが、「熱中症」と聞いたとき、どのようなイメージが浮かぶでしょうか、炎天下の運動場や、野外で汗を流す労働シーン、また真夏特有の症状であることを思い起こす人が多いかもしれません。熱中症とは、暑熱環境で発生する障害の総称であります。熱中症は季節に関係なく2月から11月まで発症することが、広く知られてきたのにもかかわらず、年々患者数が増加の一途をたどっており、死亡例も後を絶ちません。近年、熱中症が起こるシーンが多様化しており、その症状も幅広く個々の年齢、体力、生活条件によって異なる危険性が潜んでいることも指摘されております。かつて熱中症の原因を占めていた野外でのスポーツや労働時だけでなく、屋内でのオフィスワーク、家庭や学校等における発症は日常生活などあらゆるところに熱中症のリスクが潜んでおります。昨年の夏は災害級の暑さでありました。熱中症で救急搬送された人数は、全国で9万5,000人にのぼり、過去最高となりました。この数字は極端としても、ここ数年、夏場の救急搬送者数は、7万人台を下回ることがありません。</p> <p>そこで、本市の学校における子どもを熱中症から守るための対策についてお尋ね致します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 冷水機の設置について</li> <li>(2) 暑さ指数を参考にした運動方法について</li> <li>(3) 従来型の指導法の見直しについて</li> <li>(4) 近年の高温に追いつかない設備について</li> <li>(5) 熱中症対策マニュアルの作成について</li> <li>(6) 本市における近年の現状と課題について</li> </ol>
4	6	小島 雄一	<p>1 住民自治、協働のまちづくりについて</p> <p>先日、7月20日に亡くなられた元塩川町長の吉原喜三久氏は、合併により職を辞された後、立教大学に学び「平成の大合併における福島県喜多方市の検証」という論文を残された。また、今回、総務常任委員会では協働のまちづくりをテーマに大分県日田市他2市の先進地研修をしてきた。吉原氏の合併当事者としての責任感からの厳しい検証は、実に先進の市において見事に実現していた。</p> <p>そこで伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 吉原氏の指摘した検証をどのように捉えるか伺う。</li> <li>(2) 総合支所の在り方と住民自治組織づくりをどのように考えるか伺う。</li> <li>(3) 日田市の移住定住策をどのように捉えるか伺う。</li> <li>(4) 本市の今後の移住定住策を伺う。</li> </ol> <p>2 「ひきこもり」の解決に向けて</p> <p>本年5月に神奈川県川崎市で発生したスクールバス児童殺傷事件、6月の元農林水産次官の長男刺殺事件などで注目された成人のひきこもり、内閣府の調査では15～39歳が推計54万人、40～64歳が61万人いるとされている。本市においてもその実態が心配されるところ</p>

通告順	議席番号	質問者	質問事項及び質問要旨
			<p>である。            そこで以下の質問をします。</p> <p>(1) 本市の実態を伺う。            (2) 原因を伺う。            (3) 相談やケアの体制はどのようになっているか、ユースプレイスの現状を含め伺う。</p> <p>3 学校給食について</p> <p>(1) 実施中の給食費の補助を今後どうするか伺う。            (2) 直近の地元産食材の使用率を伺う。            (3) 食材の生産体制、グループ、構成人数を含めて、どうするか伺う。            (4) 自校給食の在り方をどうするか伺う。</p>
5	7	渡部一樹	<p>1 都市計画について</p> <p>(1) 塩川都市計画事業駅西土地区画整理事業の総括について伺いたい。            (2) 塩川地区の今後の都市計画、まちづくりの基本方針について伺いたい。            (3) 用途地域内の土地利用の状況について伺いたい。未利用地等の更なる宅地化の可能性を検討すべきと考えるが見解を伺いたい。</p> <p>2 空き家対策について</p> <p>(1) 空き家対策の基本方針について伺いたい。            (2) 空き家の件数の推移について伺いたい。            (3) 管理不全な空き家の対応など、これまでの取組みにおける具体的な実績と効果について伺いたい。            (4) 空き家バンクの利用実績について伺いたい。また、空き家に対する利活用のニーズをどのように捉えているか伺いたい。            (5) いわゆる「ごみ屋敷」への対応をどのように考えているのか見解を伺いたい。</p>
6	9	菊地とも子	<p>1 子育て支援について</p> <p>(1) 子育て世代包括支援センター（ネウボラ）について            (2) 産後ケアについて            (3) 産前産後ヘルパーについて            (4) ブックスタート及びセカンドブックについて</p> <p>2 食品ロス対策について</p> <p>(1) 食品ロスの取り組みについて            (2) 学校給食における食品ロスの取り組みについて</p>
7	3	山口文章	<p>1 子ども・子育てについて</p> <p>喜多方市総合計画での子ども・子育てですが、保育等の充実を目指す取り組みをしていますが、今年の10月から保育料無償化が始まり、様々な変化があると思われま。</p> <p>そこで保育施設、子育て支援について伺います。</p> <p>(1) 保育施設の現状について</p> <p>ア 保育料無償化で保育料が掛からなくなりますが、延長保育や預かり保育など、今後増加する可能性があると思いますが、保育士、</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			<p>保育施設等の現状や対策について伺います。</p> <p>イ 市は保育施設入所の待機児童数がゼロとなっておりますが、子供の居住地区外の保育施設に預けているとの話を聞きました。</p> <p>現状、各保育施設に入所している児童で児童の居住地区以外の保育施設に通園している児童はいますか。どのような事案で居住地区外の保育施設に入所することになるのか伺います。また、市で行っている保育施設入所の選定方法について伺います。</p> <p>この課題について市としての今後の対応を伺います。</p> <p>(2) 喜多方子育てサポートセンターについて</p> <p>サポートセンターで無料開放している遊び場(子どもステーション)ですが見学時に室内が暗く思えました。行政視察で訪問した河内長野市の子育てセンター「あいつく」内の室内は、非常に明るく子ども達の笑顔が多く見られました。やはり明るい環境での保育は子供たちにとってプラスになると思います。室内照明の改善、また、明るい環境をつくる整備等、市としての取り組みができるかどうか伺います。</p> <p>2 消防団組織について</p> <p>喜多方市総合計画での消防・防災計画ですが、消防団組織の充実を図ると示されていますが、現在消防団活動での課題について市としての考え、また、今後の取り組みについて伺います。</p> <p>(1) 消防団の定員について</p> <p>ア 現在、喜多方市消防団各支団・各分団で規定定員数より欠員が発生しています。地区によって団員数確保のため、様々な取り組みをしていますが、団員数確保に対する市としての考えを伺います。</p> <p>イ 団員の適正配置など市としての今後の対応について伺います。</p> <p>(2) 火災発生時の現場移動について</p> <p>現在火災発生時、消防団への周知方法として災害メールが使用されています。しかし、発生場所の住所が細部までの周知ではないため、火災場所近くまで行き、探して消火活動をしています。正確な住所が周知できれば、より早く消火活動ができると思うのですが、市の対応について伺います。</p>
8	5	上野利一郎	<p>1 地域環境保全施策について</p> <p>本市の農山村地区においては、国土の保全、水源の涵養、自然環境の保全、良好な景観の形成等の多面的機能を有しているが、近年の農村地域の過疎化、高齢化、混住化等の進行に伴う集落機能の低下により、地域の共同活動によって支えられている多面的機能の発揮に支障が生じつつあります。また、共同活動の困難化に伴い、農用地、水路、農道等の地域資源の保全管理に対する担い手農家の負担の増加も懸念されています。</p> <p>このため、農山村地区の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に係る支援はどのようなになっているのか、以下の2点について伺います。</p>

通告順	議席番号	質問者	質問事項及び質問要旨
			<p>(1) 多面的機能支払交付金の交付内訳について伺います。            ア 過去3年間での交付団体数について、農業者のみの団体、地域住民参加型の団体、都市・農村交流型の団体数と年度毎の総交付金額について伺います。            イ 平成30年度の多面的機能支払交付金全体の内訳として、農地維持支払交付金と資源向上支払交付金の比率について伺います。            ウ 平成30年度の資源向上支払交付金の内訳で地域資源の質的向上を図る共同活動、施設の長寿命化のための活動、組織の広域化・体制強化活動の交付金の比率について伺います。</p> <p>(2) 多面的機能支払交付金の制度改正について伺います。            ア 今回の改正によって支援が拡充される項目について伺います。            イ 制度改正によって加算措置が予定されていた事業についての申請が、今年度当初に申請できなかった理由について伺います。            ウ 令和2年度当初には、今回の改正に係る申請が可能であるのかと、加算措置が担保されるのか伺います。</p> <p>2 観光施策について            本市の観光による交流人口の拡充を図るためには、観光施策の具体的な計画立案と実施計画は当局で行い、実施に関しては、担当職員数と職務分掌量を考慮すると、適切な団体に外部委託する方法が効率的であると考えます。            そこで観光施策の事業実施団体等について、以下の3点について伺います。            (1) 観光施策事業において、直営で実施すべき内容と外部委託すべき内容の住み分けについてどのように考えているのか伺います。            (2) 外部委託先の1つとして喜多方観光物産協会がある。協会の受託事業量の拡大のために、独立した団体としての法人化が計画されているがその進捗状況について伺います。            (3) その他の委託可能な団体や事業体の有無と育成について伺います。</p>
9	12	長澤勝幸	<p>1 本市基幹産業、農業の現状と対応策について            (1) 本市における農業の現状と課題について            ア 本市における農地の耕作状況と今後の対応・見通しについてどのように捉えているのか。            イ 担い手不足の中で耕作が困難となり、リタイヤし農地中間管理機構に農地活用を依頼できるが、活用状況はどうか。            ウ 次年度に向けて、集落で調整しても耕作を担えない現状もあると聞き及ぶが実態をどう把握しているのか。            エ 認定新規就農者制度の活用状況と定着数、本市での就農に向けた課題をどのように分析しているのか。            (2) 将来に向けた対応策、課題解決の方策について            ア 関係者から「集落の設計図」となる経営体としての地域の共同営農をどう描くかが課題とも言われているが、推進するに当たり重要なポイントは何か。</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			<p>イ 持続的な集落共同営農を実現させるために、課題解決へ柔軟な対応を前提とするモデル地区を設置し、具体的な事例を示し推進することも一考察と考えるがどうか。</p> <p>ウ 農地パトロールに同行させていただいたが、恒常的に山林化し、再生不可能な田畑が多くなり、台帳上、非農地化するなど整理できないのかの指摘がされていた。国からの指導、今後の対応策、課題は何か。</p> <p>エ 企業誘致と同様に優良な遊休農地の有効活用を重点的に進めるべきとの市への期待が大きいと思うがどう受け止めているのか。</p> <p>2 新年度、会計年度任用職員制度移行について</p> <p>(1) 制度移行に伴う採用の手続き・考え方について</p> <p>ア 現在の非正規職員の中で、臨時職員、嘱託職員、一般事務職員、冬期間の短期除雪職員などの配置状況及びその雇用形態（臨時職員、パートなど）はどうか。</p> <p>イ 今後新制度で、特別職、臨時的任用、会計年度任用職員に大別される。制度運用・移行にあたっての新規・継続者のフルタイム、パートタイムの採用基準の考え方と割合はどの程度になるのか。</p> <p>ウ 新制度での給与・報酬・各種手当の考え方はどうか、労働条件などはどのように変わっていくのか。</p> <p>エ 新制度での公募・採用方法や時期は、いつ頃になるのか。</p> <p>(2) 予算確保と長期的な制度運用の考え方について</p> <p>ア 条例改正、システム改修や人件費などの概算、予算確保をどのように考えているのか。</p> <p>イ 採用後、毎年選考試験、1か月の試用期間が制度化される。次年度の継続採用者など人事評価による簡略化は考えているのか。</p> <p>ウ 制度改正に伴い、専門職を確保するための採用の考え方はどのようになるのか。</p>
10	1	矢 吹 哲 哉	<p>1 核兵器と原発のない世界についての市長の政治姿勢について</p> <p>(1) 日本政府に対し、核兵器禁止条約への署名を求めるべきと考えるが市長の見解を伺う。</p> <p>(2) 柏崎・刈羽原発の再稼働の方針を示した東京電力に対し、原発被災県の市長として、抗議し、全原発の廃炉を求めるべきと考えるが、市長の見解を伺う。</p> <p>(3) 「非核平和のまち」宣言都市として、本市の非核平和の取組の充実を求めるが、市長の見解を伺う。</p> <p>ア 宣言文パネルの市民ホールへの展示、被爆写真パネルの7～10月の展示についての検討状況について</p> <p>イ 本年度の取組について</p> <p>2 子育て支援の施策の充実について</p> <p>(1) 次期「子ども・子育て支援事業計画」（2020～24年度）について</p> <p>ア 現在の事業計画の取組についての全体的評価を伺う。</p> <p>イ 主な個別計画の課題について</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			<p>(ア) 待機児童解消の現状と対策について                      (イ) 保育士の確保の現状と対策について                      (2) 10月からの幼児教育、保育料の無償化について                          ア 国が行う無償化の内容について                          イ 副食費の実費徴収についての市の対応について                          ウ 副食費の無償化の実施に向けての検討について                      (3) 県立病院跡地への子育て支援施設建設について                          ア 現在の取組状況について                          イ 施設の運営方針について</p> <p>3 県立高校改革、本市小中学校適正規模適正配置について                      (1) 県立高等学校改革前期実施計画について                          ア 現在の喜多方高校、喜多方東高校の統合、耶麻農業高校の統合計画の取組状況について                          イ 市長の今後の対応と基本的姿勢について                      (2) 小中学校適正規模適正配置について                          ア 市長選の公約で「地域性を重視した小中学校の適正配置の検討をする」としているが具体的に今後どうするのか市長に伺う。                          イ 喜多方市独自に現在の小規模校を生かした、地域が一体となった喜多方方式として存続、発展を図るべきと思うが見解を伺う。</p>
11	21	山口和男	<p>1 財政問題について                      (1) 消費税率の引上げによる影響についての見解を求める。                      (2) 幼児教育・保育の無償化については、当初予算で約6,500万円であったものが、税率引上げにより歳入、歳出がどのように変わるのか詳細を伺う。                      (3) 臨時財政対策債はどのような判断で地方債の額を決定しているのか。コンセプトと決定までの経過を伺う。仮に、臨時財政対策債を発行しなければ財政指標にどのような影響を及ぼすか伺う。                      (4) 臨時財政対策債を一般財源として扱うが、これだと赤字団体と同じ状況下になると考えられるが見解を問う。                      (5) 中期財政計画では、臨時財政対策債を未発行段階で、それぞれの年度の歳入として見積り計上してあるが、この取扱いが正常な扱いと認識しているのか見解を問う。                      (6) 臨時財政対策債の残高を減らす考え方を具体的に伺う。                      (7) 国税収入のうち、消費税の法定率分が令和元年から引き下げられ2年度以降はさらに下がります。この影響の試算はしているのか、そのような中で中期財政計画では引下げ率を見ていないのはなぜか、見解を問う。</p>
12	4	十二村秀孝	<p>1 市川市との相互交流協定について                      平成30年9月4日、市川市との相互交流協定の締結を踏まえ、その一環として、平成31年4月から市立小中学校55校(児童生徒数約31,400人)に本市、北塩原村、西会津町産米を提供する取組みが始まっております。                      そこで次の3点について伺います。</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			<p>(1) 取組みが始まって約半年経過しましたが、市川市側の反応はどうか伺います。</p> <p>(2) 市川市以外で喜多方米が使用されている市町村はあるのか、また、こうした取組みを拡大していく考えはあるのか伺います。</p> <p>(3) 相互交流の一環として、教育旅行の誘致についての考えを伺います。</p> <p>2 消防団組織及び装備について 喜多方市総合計画の基本目標に消防体制の充実とありますが、消防団組織及び装備について、次の2点について伺います。</p> <p>(1) 2017年3月の道路交通法の改正により普通免許を取得した人が運転できる車両が総重量5トン未満から3.5トン未満となりましたが、喜多方市消防団の車両班へ配備されているポンプ車は3.5トン以上です。 現在、車両班配属の団員の中で3.5トン以上の車両を運転できる団員の割合はどのようになっているのか伺います。</p> <p>(2) 小型ポンプの更新は何年で更新する予定なのか、また、今後、集約して装備を充実させるような考えはあるのか伺います。</p> <p>3 物産の振興について 喜多方市総合計画の基本目標に、地域資源の魅力を最大限に引き出すことにより観光の振興を目指すとあり、物産の振興についてはこだわりの逸品の開発支援を推進するとありますが、現在、研究開発を進めている物産はあるのか伺います。</p>
13	18	伊藤 弘明	<p>1 雇用の創出について 企業の誘致だけではなく、雇用の創出のために発想を変えて新たな対策を考えられないか。仕事の誘致という考え方について。</p>
14	8	蛭川 靖弘	<p>1 喜多方綾金工業団地分譲の進捗について 喜多方綾金工業団地分譲の進捗について、以下の点について問う。</p> <p>(1) 分譲地4区画の申込状況、成約状況について</p> <p>(2) 平成29年度及び平成30年度の企業誘致のための訪問企業について ア 訪問した企業の業種と事業所の規模等 イ 製造業、先端技術産業・同関連ソフト産業、情報処理・提供サービス業、道路貨物運送業、倉庫業、こん包業、卸売業、試験研究・開発施設等 上記、想定企業以外の検討は行っているのか。 ウ 企業誘致のための訪問企業の反応と見えてきた課題</p> <p>(3) 企業訪問以外の分譲に関する問い合わせ状況（電話、webサイト等）について</p> <p>(4) 上記の結果を踏まえた上での企業誘致戦略計画の妥当性の検証について</p> <p>(5) 関連事項として、喜多方市内の有効求人倍率の推移及び市内高校新卒者の地元就職の状況とUターン希望者の求める職種について</p> <p>(6) 市内及び会津地域の深刻な人手不足への対応策等も含めた今後の企業誘致の実施計画について</p>

通告順	議席番号	質問者	質問事項及び質問要旨
15	13	渡部 勇一	<p>1 市長の政治姿勢について</p> <p>(1) 定住自立圏構想事業について</p> <p>ア 今年度の事業計画は何か。</p> <p>イ その事業の狙いと経過状況はどうか。</p> <p>ウ 今後新たに考える事業計画はあるか。</p> <p>(2) 観光行政について</p> <p>ア 観光客一人当たりの消費額はいくらか。</p> <p>イ 一人当たりの消費額増を図るために経済波及効果を上げる施策が必要と思うがどうか。</p> <p>2 教育行政について</p> <p>(1) 教育長の教育行政姿勢について</p> <p>ア 喜多方市の教育の在り方についてどう考えるか。</p> <p>イ 就任2年目となるが独自の施策はあったのか。</p> <p>ウ 今後新たな施策の考えはあるか。</p>
16	11	坂内 鉄次	<p>1 観光行政について</p> <p>(1) 旧甲斐家蔵住宅について</p> <p>ア 保存活用計画について伺う。</p> <p>イ 今後の活用に向けたスケジュールについて伺う。</p> <p>ウ 観光の拠点施設としての今後の活用について伺う。</p> <p>(2) 喜多方観光物産協会の法人化について</p> <p>ア 改めて法人化に向けた基本的な考え方について伺う。</p> <p>イ 法人化へのスケジュールについて伺う。</p> <p>ウ 法人化後の喜多方の観光の展望について伺う。</p> <p>2 公の施設の管理運営について</p> <p>(1) 公の施設の使用料の見直しについて</p> <p>(2) 公の施設の指定管理を含む見直しについて</p>
17	15	田中 雅人	<p>1 本市における固定資産税の見直しについて</p> <p>5市町村の合併から14年目、改めて合併時の約束事は守られているのかを検証するのは議会としても重要だと考える。</p> <p>(1) 本市の固定資産税率（合併前5市町村ごとの固定資産税率を含む）の変遷について伺う。</p> <p>(2) 現在、1.45%であるが1.4%の標準税率にすべきだと思いが見解を伺う。</p> <p>2 防災に関連して</p> <p>異常な降雨による災害が全国的に起きている中、防災のための対応が急がれている。</p> <p>(1) 各河川の一部に水位計が設置されているが効用について伺う。</p> <p>(2) 本市の各河川における堆砂処理、繁茂する雑木の対応について伺う。</p> <p>3 市長など三役の退職金の見直しについて</p> <p>現在、条例により特別職三役への退職金が任期ごとに支給されるが、制度の見直しが必要ではないか伺う。</p> <p>(1) 条例により任期ごとに支給されるそれぞれの支給額を改めて伺</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			<p>う。</p> <p>(2) 支給を見直した県や市町村などの例について伺う。</p>
18	16	五十嵐吉也	<p>1 固定資産の税率に係る答弁の整合性について</p> <p>(1) 「固定資産税率を引き下げない」とする喜多方市の特別な事情について</p> <p>(2) 本市の行政水準、サービス、活性化等の度合いを他市と比較した場合、負担が高い分、住民満足度は高いか、高いとする具体例について</p> <p>(3) 税を引き下げない理由に合併時の議会議決、検討委員会の答申を挙げている点について</p> <p>(4) 当局の行政手法に関する整合性について</p> <p>(5) 行政施策の見直しについて</p> <p>(6) 各種統計等から見た現状と改革について</p>
19	17	佐藤忠孝	<p>1 旧甲斐家蔵住宅の運営について</p> <p>(1) 国登録有形文化財の旧甲斐家蔵住宅については、何度か議会に説明があったが改善について方向性はどのように進んでいるのか伺う。</p> <p>(2) 旧甲斐家蔵住宅の昨年度の同時期との比較した入客数について伺う。また、アンケートについてはどのような回答になっているか伺う。</p> <p>(3) 施設館内トイレの件についてお客様から不便の苦情があるようですが、改善の方向性を伺う。</p> <p>(4) 旧甲斐家蔵住宅駐車場入口の道路改良工事について、現在、道路の破損により観光名所としてふさわしくない状況にあるが、道路改良工事の考えを伺う。</p> <p>2 蔵の湯の管理について</p> <p>(1) 蔵の湯駐車場の車両の区分線が消えて見えない状況にあり、お客様のトラブルや苦情がある中で、入客同士の接触事故が何件もあり人身事故などが起きればいろいろな面で問題が起きる可能性があると思うが、改善の方向性を伺う。</p> <p>(2) 消費税増税に伴い、各温泉施設の料金設定、その他の設定について統一の考えを伺う。</p> <p>3 豊川・慶徳線高規格道入口下勝交差点までの道路改良工事について</p> <p>(1) 綾金工業団地入口から国道 121 号高規格道入口下勝交差点までの間の工事の進捗状況について伺う。</p> <p>(2) この交差点については何度か一般質問を行って参りましたが、全員協議会でも説明があり、交差点道路の取り付け部分の改良工事で道路の一部位置の変更があるようだが、現在の道路使用について考えを伺う。</p>